

【説明資料】

令和5年度 国内における 米陸軍との実動訓練について

令和5年7月
防衛省

令和5年度 国内における米陸軍との実動訓練について (オリエント・シールド23)

訓練の目的

陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の連携要領を訓練し、共同対処能力の向上を図ることを目的としています。

実施場所

訓練実施場所は、東千歳駐屯地、矢臼別演習場、上富良野演習場、静内対空射場（北海道）、奄美駐屯地、瀬戸内分屯地（鹿児島県）等の使用を予定しています。また、一部のヘリ部隊が、帯広駐屯地及び丘珠駐屯地を使用する予定です。

実施期間

令和5年9月14日から9月23日
(訓練準備は9月上旬、撤収は9月下旬を予定)

演習の内容

- 本年9月14日から9月23日にかけて、北海道内の陸上自衛隊駐屯地や演習場及び鹿児島県の奄美駐屯地等において、米陸軍との実動訓練を実施する計画です。
- 今回の日米共同訓練においては、共同対処能力の向上のため、在日米陸軍司令部との共同指揮所訓練（東千歳駐屯地、上富良野演習場、静内対空射場）、米陸軍のHIMARSと陸上自衛隊多連装ロケットシステム（MLRS）等との共同対艦戦闘訓練（矢臼別演習場）、米陸軍部隊（スティンガー・アベンジャー）と陸自近SAM等との共同対空戦闘訓練（静内対空射場、米部隊は非実射）、米陸軍歩兵部隊等との共同戦闘訓練（上富良野演習場）等を実施する予定です。
また、奄美大島等においては、兵站訓練として、沖縄本島から奄美駐屯地等へ陸自補給品を米軍小型揚陸艇により輸送する訓練等を実施するとともに、米HIMARSと陸自MLRSとの非実射連携訓練（奄美駐屯地）を実施する予定です。

令和5年度 国内における米陸軍との実動訓練について (オリエント・シールド23) (イメージ図)

地元説明資料

訓練項目	共同指揮所訓練
場 所	東千歳駐屯地、 上富良野演習場、 静内対空射場

訓練項目	共同対艦戦闘訓練 (実射)
場 所	矢臼別演習場

訓練項目	ヘリ発着基盤
場 所	丘珠駐屯地



訓練項目	共同戦闘訓練
場 所	上富良野演習場

訓練項目	ヘリ発着基盤
場 所	帯広駐屯地

訓練項目	共同対空戦闘訓練 (米部隊、非実射)
場 所	静内対空射場

訓練項目	兵站訓練 共同対艦戦闘訓練 (非実射)
場 所	奄美駐屯地 瀬戸内分屯地



北海道における訓練について

北海道では、共同指揮所訓練（東千歳駐屯地、上富良野演習場、静内対空射場）、共同対空戦闘訓練（静内対空射場（日側のみ実射））、共同対艦戦闘訓練（矢臼別演習場（実射））、共同戦闘訓練（上富良野演習場（実射））を実施します。また、一部のヘリ部隊が、帯広駐屯地及び丘珠駐屯地を使用する予定です。



共同指揮所訓練



自衛隊：UH-1J 米陸軍：UH-60

ヘリ発着基盤



自衛隊：MLRS 米陸軍：HIMARS

共同対艦戦闘訓練



自衛隊：近SAM



米陸軍：アベンジャー等
（非実射）

共同対空戦闘訓練



自衛隊：O1ATM等



米陸軍：AT-4対戦車無反動砲等

共同戦闘訓練



自衛隊：AH-1S 米陸軍：AH-64

ヘリ発着基盤